

# 消化器・代謝・血液病学

担当講座	内科学講座 消化器内科学分野	問合せ先	消化器内科学分野
分野責任者	松本 主之 教授	連絡先	内線6223
担当教員	松本 主之 教授 黒田 英克 特任教授 宮坂 昭生 准教授 佐々木 章 教授 (外科学講座) 新田 浩幸 教授 (外科学講座) 石垣 泰 教授 (糖尿病・代謝・内分泌内科学分野) 伊藤 薫樹 教授 (血液腫瘍内科学分野) 肥田 圭介 教授 (医療安全学講座) 岩谷 岳 特任教授 (臨床腫瘍学講座) 千葉 俊美 教授 (歯学部 口腔医学講座) 遠藤 龍人 教授 (看護学部 看護専門基礎講座)		
人材育成の 基本理念	消化管、胆・膵疾患、肝疾患、糖尿病や脂質異常を中心とする代謝疾患ならびに血液疾患に関する基本的な知識を習得したうえで、臨床未解決な課題を抽出し、文献的に考察を加えた上で、解決可能な問題に定式化する手法を学ぶ。その解決のために基礎医学的あるいは臨床医学的にアプローチするための論理、手法、手技を修得させる。		
主な研究内容	胃癌、大腸癌の内視鏡診断と治療に関する研究、遺伝性消化管疾患の遺伝子解析に関する研究、炎症性腸疾患の病態解明と治療に関する研究、胆膵疾患の画像診断と内視鏡治療に関する研究、炎症発症の分子解析に関する研究、薬剤性消化管粘膜傷害の発生機序に関する研究、小腸疾患の内視鏡診断に関する研究、肝不全の病態、治療に関する研究、肝癌の新規治療に関する研究、肥満性肝疾患の病態、治療に関する研究、新規動脈硬化診断法の臨床応用に関する研究、マウス褐色脂肪組織からの抗肥満因子の探索研究、超高磁場MRIによる糖尿病における脳血管障害の解析、家族性高コレステロール血症と脳動脈硬化の研究、糖化蛋白を指標とした糖尿病の病態評価に関する研究、糖尿病併発の新しい診断マーカーの探索研究、データベースに基づいた合併症発症予測因子の研究、甲状腺ホルモンとインスリン分泌の関連に関する研究、持続血糖モニタリングで評価する薬剤効果に関する研究、冠動脈石灰化と糖尿病合併症及び予後の関連に関する研究、白血病の化学療法・造血幹細胞移植に関する臨床研究、造血特異性巨核球・血小板造血の調節機構の研究、抗がん剤の作用機序・耐性機序の研究、骨髄異形成症候群などの無効造血に関する研究、アポトーシス分子を標的とした白血病治療の研究、新規抗がん剤開発に関する基礎研究、多発性骨髄腫の治療に関する臨床研究、抗生剤・抗癌剤のPK/PD研究、慢性骨髄性白血病治療の効果予測評価法の開発研究、巨核球・血小板造血の調節機構の研究		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	消化管、肝・胆・膵疾患、糖尿病や脂質異常症等の代謝疾患、血液疾患に関する基本的知識（病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、鑑別診断、治療および予後など）の修得により、臨床的課題に基づいた医学研究の重要性を理解し、自ら研究を計画し、実行できる。	1, 2, 3, 4, 5, 6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論、消化器病学基礎修練1,2、消化器内科臨床演習1,2、肝臓内科臨床演習1,2、糖尿病代謝内科臨床演習、血液・腫瘍内科臨床演習、消化器外科臨床演習	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究、消化器病学基礎修練1,2	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	特別研究、消化器病学基礎修練1,2、消化器内科臨床演習1,2、肝臓内科臨床演習1,2、糖尿病・病代謝内科臨床演習、血液・腫瘍内科臨床演習、消化器外科臨床演習	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	多職種連携チーム医療、消化器病学基礎修練1,2、消化器内科臨床演習1,2、肝臓内科臨床演習1,2、糖尿病・病代謝内科臨床演習、血液・腫瘍内科臨床演習、消化器外科臨床演習	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究I・II	
(6)消化管、肝・胆・膵疾患、糖尿病や脂質異常症等の代謝疾患ならびに血液疾患についての病因、病態生理、症候、画像所見、臨床検査所見、診断、鑑別疾患、治療法および予後などについて説明できる。	消化器病学基礎修練1,2、消化器内科臨床演習1,2、肝臓内科臨床演習1,2、糖尿病代謝内科臨床演習、血液・腫瘍内科臨床演習、消化器外科臨床演習		
資格取得等			
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合には、日程の調整に応じる。 (問合せ先：内科学講座消化器内科・内線6223)		

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに必要な単位	備考
研究特論	1年	講義	消化器病学基礎修練1	後期	8コマ	1	20単位	※20単位以上の取得可
	1年	講義	消化器病学基礎修練2	後期	8コマ	1		
	1年	実習	消化器内科臨床演習1	通年	60コマ	4		
	1年	実習	消化器内科臨床演習2	通年	60コマ	4		
	2年	実習	肝臓内科臨床演習1	通年	60コマ	4		
	2年	実習	肝臓内科臨床演習2	通年	60コマ	4		
	1年	実習	糖尿・病代謝内科臨床演習	通年	60コマ	4		
	2年	実習	血液・腫瘍内科臨床演習	通年	60コマ	4		
特別研究	1年	必修	特別研究 I (中間審査)	通年	15コマ	2	4単位	
	2年	必修	特別研究 II (論文作成)	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

消化器・代謝・血液病学

コード	MM12131010				MM12131020				MM12131030				MM12131040			
科目	消化器病学基礎修練1				消化器病学基礎修練2				消化器内科臨床演習1				消化器内科臨床演習2			
科目責任者	宮坂昭生				佐々木章				松本主之				千葉俊美			
担当者	宮坂昭生、黒田英克				佐々木章、肥田圭介、岩谷岳				松本主之				千葉俊美			
会場	消化器・肝臓内科カンファレンスルーム				外科カンファレンスルーム				西9階B棟				内丸消化管内科外来			
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	実習	単位	4	区分	実習	単位	4
	回数	後期8コマ	配当年次	1	回数	後期8コマ	配当年次	1	回数	通年60コマ	配当年次	1	回数	通年60コマ	配当年次	1
主な授業内容	消化器の解剖、生理、病態、診断、治療の基礎知識				消化器の外科治療を中心とした治療学の基礎知識				回診、臨床症候学、治療実習に関する解説と議論				消化器診断・治療に関する解説と議論			
教育成果	消化管、肝・胆・膵疾患に関する基本的知識（病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、鑑別診断、治療および予後など）の修得により、研究課題を抽出できる。				消化管、肝・胆・膵疾患の外科治療に関する基本的知識の修得により、研究課題を抽出できる。				消化器病診断・治療の実際を見学し、回診での症例プレゼンテーションを学ぶとともに消化器病診療手法を理解する				消化器病外来診療の実際を見学することで、消化器病診療の基本的な考え方を習得する。			
S 目 到 標 達 O	分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。								各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。							
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

コード	MM12131050				MM12131060				MM12131070				MM12131080			
科目	肝臓内科臨床演習1				肝臓内科臨床演習2				糖尿病・代謝内科臨床演習				血液・腫瘍内科臨床演習			
科目責任者	宮坂昭生				遠藤龍人				石垣泰				伊藤薫樹			
担当者	宮坂昭生				遠藤龍人				石垣泰				伊藤薫樹			
会場	西9階B棟				内丸肝臓内科外来				糖尿病・代謝内科カンファレンスルーム				血液・腫瘍内科カンファレンスルーム			
区分等	区分	実習	単位	4	区分	実習	単位	4	区分	実習	単位	4	区分	実習	単位	4
	回数	通年60コマ	配当年次	2	回数	通年60コマ	配当年次	2	回数	通年60コマ	配当年次	1	回数	通年60コマ	配当年次	2
主な授業内容	回診、臨床症候学、治療実習に関する解説と議論				外来診療実習と診断プロセスに関する解説と議論				糖尿病代謝学外来の見学とセミナーに出席し、議論に参加。				血液・腫瘍内科の回診に参加し、最新の治療学について議論する。			
教育成果	肝臓病診断・治療の実際を見学し、回診での症例プレゼンテーションを学ぶ。肝臓病診療手法を理解する。				肝臓病外来診療の実際を見学することで、消化器病診療の基本的な考え方を習得する。				糖尿病代謝学外来診療の実際を見学することで、糖尿病診療の基本的な考え方を習得する。また、セミナーに参加し、議論することで、最新の治療法を理解し、研究計画の立案方法を修得する。				血液病診療の実際を見学することで、血液病診療の基本的な考え方を習得する。			
S 目 到 標 達 O	分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

●各科目の授業計画

消化器・代謝・血液病学

コード	MM12131090				MM12139010				MM12139020							
科目	消化器外科臨床演習				特別研究 I				特別研究 II							
科目責任者	佐々木章				各(正)指導教員				各(正)指導教員							
担当者	佐々木章				各指導教員				各指導教員							
会場	中病棟9階				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定							
区分等	区分	実習	単位	4	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2				
	回数	通年60コマ		配当年次	2	回数	通年15コマ		配当年次	1	回数	通年15コマ		配当年次	2	
主な授業内容	消化器外科学回診				<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学や研究手法の基礎的な知識</li> <li>・研究計画調書の作成</li> <li>・中間審査の準備</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識</li> <li>・論文作成</li> <li>・最終試験の準備</li> </ul>							
アウトカム	消化器外科学の診断・治療の実際を見学し、回診での症例プレゼンテーションを学ぶとともに消化器外科診療手法を理解する				<p>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p>&lt;中間審査&gt; 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>				<p>生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p>&lt;論文作成&gt; 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。</p>							
SBO	分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6)				分野の達成目標 (2), (3), (5)				分野の達成目標 (2), (3), (5)							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。							
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。				「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。											
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●時間割

消化器・代謝・血液病学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	消化器内科臨床演習2	消化器外科臨床演習	肝臓内科臨床演習1		肝臓内科臨床演習2	基礎科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30		血液・腫瘍内科臨床演習	消化器内科臨床演習1			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	特別研究I-II	特別研究I-II	特別研究I-II	糖尿病・代謝内科臨床演習	特別研究I-II	
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	消化器内科臨床演習2	消化器外科臨床演習	肝臓内科臨床演習1		肝臓内科臨床演習2	基礎科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30		血液・腫瘍内科臨床演習	消化器内科臨床演習1			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	消化器病学基礎修練1・2 または特別研究I-II*	消化器病学基礎修練1・2 または特別研究I-II*	消化器病学基礎修練1・2 または特別研究I-II*	糖尿病・代謝内科臨床演習	消化器病学基礎修練1・2 または特別研究I-II*	
6 限	19:40~21:10						

\*: 週によっていずれかの科目が実施される。

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						